

(様式第1号)

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	令和3年度 第2回芦屋市放課後子どもプラン運営委員会 会議録
日時	令和3年2月12日(金)
場所	
出席者	委員長 酒井 達哉 副委員長 柳生 加代子 委員 高橋 孝子 委員 友廣 剛 委員 金本 ひとみ 委員 極楽地 愛子 委員 渡辺 史恵 委員 小西 絵理香 委員 中田 伊都子 委員 木下 新吾
事務局	社会教育部長 中西 勉 生涯学習課長 長岡 良徳 生涯学習課課長補佐 中寫 健太 生涯学習課 海士部 香苗 青少年育成課長 近田 真 青少年育成課係長 古川 雄一 青少年育成課主査 上田 裕之
会議の公開	■ 公開(書面開催)
傍聴者数	0人(公開又は一部公開の場合に記入すること。)

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全委員の同意を得て、第2回会議をみなし開催とし、書面決議を行うことに決定した。

下記の決議事項について、全委員から提出された回答をもって、令和3年3月2日(火)に議決した。

1 会議次第

- (1) 令和2年度事業報告について
 - ア 校庭開放事業について
 - イ あしやキッズスクエアについて
- (2) 令和3年度放課後プラン事業について

2 提出資料

- 【資料1】校庭開放事業について
- 【資料2】あしやキッズスクエアについて
- 【資料3】令和3年度放課後プラン事業について

3 審議内容

【意見内容集約】

<極楽地委員>

- (1) コロナ禍のキッズスクエア・校庭開放事業について

今年度はコロナ禍におけるキッズスクエア・校庭開放事業などの運営について、本当に大変だったことと思います。すべてが手探りの中、様々な工夫や取り組みをしていただいていると資料を拝見して感じました。皆様のご尽力に感謝申し上げます。

また、このような状況下においても、ボランティアスタッフや学生の方々・各団体企業様にもご協力いただいているというのがありがたく、強力な相互連携協働に、あしやキッズスクエアの安定性と社会への浸透を感じました。

コロナ禍において、各家庭でも、改めて子どもたちの放課後の過ごし方について考える機会も多くなったことと思います。「当たり前が当たり前ではない」と気づきにもなった気がします。様々なご意見やご要望はあると思いますが、子どもたちの新たな生活様式がよりよいものとなるよう願っています。

(2) キッズスクエアと学童の連携

以前よりご検討いただいていたキッズスクエアと学童連携について、年度内に全小学校において実施いただいたとのこと、ありがとうございます。

丁寧にご検討いただき、かつ迅速に進めていただいているなど感じました。

各家庭への周知や、安心・安全面での検証など大変かと思いますが、より多様なニーズに対応、子どもたちの思いに寄りそえるようになると思いますので、引き続き宜しく願い致します。

(3) キッズスクエア広報について

昨年度の会議においても広報の難しさについてお話にあがっていましたが、スケジュールや詳細な運営情報をHPに掲載していただけると、いつでもどこでもタイムリーに欲しい情報を確認できるようになるので、保護者はありがたいと思います。

QRコードによるURLへのアクセスも便利だと思います。また、サイト自体も画像を貼付いただくなど工夫いただき、視覚的にも分かりやすいと感じました。メンテナンスは大変かと思いますが、引き続き、最新情報の掲載、開示を宜しく願い致します。

<小西委員>

今回の議題(1)イのあしやキッズスクエアについて。

スタッフからキッズスクエア利用時の部屋が密になっているので、対策をお願いしていますが、改善されません。少ない日は良いですが、多い日は、万が一クラスターが発生すると思うと怖いです。(手洗い消毒、換気、出来ることはやっています。)

(回答) キッズスクエア担当上田

いつもキッズスクエアスタッフとしてご協力頂いております小西委員様・渡辺委員様・柳生委員様はじめ、百数十名のスタッフの皆様にはコロナ禍にもかかわらず、こども達のためにご協力頂き、感謝致します。

小西委員様が指摘くださっております通り、キッズスクエア(文部科学省放課後子供教室)は、放課後に学校の空き教室等を利用することとしており、コロナ禍において借りる室内を増やす事、また増やすことによる人員の確保などの課題もある事業となります。

また学校によっては室内の広さが十分ではなく、児童が多数参加した際に十分に密を防ぐことが難しい状態が生まれてくる可能性もある事業となっております。

ご発言くださっておりますようにキッズスクエアでは、出退時の手洗い消毒、換気、児童や同居家族の体調の悪い場合の参加見合わせ、また現在まで実施したことはございませんが、児童が多数になり、密が防げない場合は帰宅可能な児童は帰っていただくなどをお願いもしております。

クラスターが起こるかもしれない、陽性の児童が参加する可能性もあるなど、感染拡大する可能性も考慮し、先程もお伝えしましたように参加後の消毒等も行い、運営を進めさせて頂いております。スタッフの皆様のご協力以外にも児童に陽性者が出る可能性についても随時いろいろな事態に即応し、クラスターをさけるため手だてを講じている状況です。

コロナウイルス感染予防を行いながら、このコロナ禍で家庭や学校で制限禁止が多く、ストレスなどを感じている子どもの居場所を確保することも、また同様に大切であると考えております。

今後も、皆様にご意見を頂きながら、より安全な運営を行っていきたいと思います。

<柳生委員>

- (1) 学校休校期間が長かったこと、夏休み期間が短かったことのイレギュラーな1年でしたから尚の事、子どもたちの良き居場所として自由で創造的な又、安心できる場の提供は、私たち大人の責務であることを再確認しています。
- (2) 高校生大学生ボランティアのかかわりは、コロナ禍の制限を伴いつつも、継続されてきており、よい活動であると思います。キッズスクエアの子どもたちボランティアの学生たち双方にとって良いサイクルを生むものと思います。キッズスクエアの子どもたちが大きくなって、この活動に参画してくれることを大いに期待します。かかわりの持てるキッズスクエアが限られていることは、学生側の事情もあるとは思いますが、広がっていくことを期待します。
- (3) 学童保育とキッズスクエアの連携が全学校で可能になったことは、選択肢が増え、良かったと思います。コロナ禍でプログラムを制限されており、実際の利用はほとんどありません(浜風キッズの場合)が、今後の利用は出てくると思います。
この実現に向けて両方の担当者スタッフが話し合ってきたことにも価値があったと思います。(両者の立場の違いを認識しあい、理解しあえたこと等)

<中田委員>

キッズスクエアと学童保育の連携ができるようになったことは、大変良かったと思いました。また、土曜日の校庭開放では、潮見小学校での開催実施日が地域の実情に合わせた形になることも良かったと思いました。

<友廣委員>

本来、放課後子どもプランは、放課後児童クラブ(学童保育)と放課後子ども教室(キッズスクエア)は連携するのが当たり前で、そのための事業です。

保護者が求めているのは、芦屋で古くからおこなわれているコミスクなどの活動と学童保育の連携(コミスク参加から学童保育へ戻ること)です。

連携に努力されていることには感謝しますが、そちらの方もしっかり対応いただきたいと思います。

【質問事項】

<友廣委員>

「潮見コミスクがクラブ活動で校庭使用を希望しているため…」とありますが、他の団体が優先して校庭を使用して、空いているところだけが、子どもに校庭開放するという事でしょうか?

山手は、すべての週が空いていないので、校庭開放がないのでしょうか?

(回答)

潮見小学校の校庭開放は利用者数が少なく(今年度(12月末現在)年間計11名、昨年度8名)コミスクのクラブ活動(野球, サッカー)が盛んなため, コミスクの代表者からの要望を受け, 毎週校庭開放を実施していたのを月2回に変更します。

校庭開放日以外の校庭の使用については, 各コミスクと教育委員会が協定書を締結しており, 毎月学校と調整の上, 利用されています。コミスク以外で, 校庭使用希望の場合は, 教育委員会管理課で使用許可の手続きが必要になります。

山手小学校の校庭開放は, 平成24年2学期から利用者が少ないため, 中止しています。令和元年10月まで代わりとなる教室型事業を実施していました。

<渡辺委員・中田委員>

令和3年度キッズスクエア登録案内冊子の修正箇所について

(回答)

貴重な保護者目線でのご意見ありがとうございました。

毎年, データアップをさせて頂き, 少しでもご理解いただきやすい文面を目指しておりますが至らない点がございます。紙面に限りがございます文章を短くコンパクトにするため詳細の説明を省いている点, また, 情報が多く分かりにくい点など非常にコンパクトに具体的にお教えいただきましたことありがとうございました。

今後の参考にさせていただきます。